

HuMA News Letter

熊本地震被災者への医療支援の報告

～初動調査および本隊医療支援チームを派遣～

○熊本・阿蘇市管轄地区へ医療支援チームを約1ヶ月間派遣決定

4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震央とする、震源の深さ11km、気象庁マグニチュード(Mj)6.5、モーメントマグニチュード(Mw)6.2の地震(前震)が発生し、熊本県益城町で震度7を観測しました。その28時間後の4月16日1時25分には、同じく熊本県熊本地方を震央とする、震源の深さ12km、Mj7.3、Mw7.0の地震(本震)が発生し、熊本県西原村と益城町で震度7を観測しました。Mj7.3は1995年(平成7年)に発生した阪神淡路大震災と同規模の大地震で、死者49人 負傷者1664人(5/24現在)、被災避難者数183,882人(4/17最大時)に上り、避難所ではノロウイルスやインフルエンザによる感染症の発生が疑われる状況となりました。



地震の影響で倒壊した家屋



家屋が半壊し、余震から身を守る為、車中泊

地震発生直後からHuMAは情報収集と災害医療支援の準備を開始しましたが、DMAT他の災害緊急医療チームが次々と現地入りする状況下で、倒壊家屋から救出された負傷者等の救急救命医療が一巡し、被災者の避難所での生活が始まる亜急性期に避難所での巡回医療提供を企図して、初動隊の派遣に踏み切りました。初動隊は益城町及び阿蘇地区で初動活動の結果、阿蘇地区保健医療復興会議(ADRO)より阿蘇市役所保健課の地域保健・医療を支援するADRO阿蘇市分室の運営委嘱(他県・他NPO派遣保健医療チームと行政とのcoordination)を受け、5/2から5/26迄の約一ヶ月間に亘り、三チーム(交代制)での医療支援ミッション本隊を派遣することとなりました。



ADRO阿蘇分室



阿蘇市内避難所巡回診療① DVT対策



周期性医療支援(ALSO)チームの妊婦健診を支援



阿蘇市内避難所巡回診療②

○二次隊は阿蘇市内避難所集約・新設と保健衛生管理を支援

一次隊からADRO阿蘇市分室運営を引き継いだ二次隊(5/12～)は、それに加えて、阿蘇市役所が進める避難所の集約(7箇所→3箇所)と新設する避難所の設計・設営・入所者管理及びトイレ等の保健衛生アセスメントを支援する役割を担うこととなりました。避難所のレイアウトや感染症対策としての隔離施設の設置等を進める中で、避難所入所者に対する健康相談と同時に新設避難所に関するアンケート調査も実施し、被災者・避難者に寄り添う医療・保健サービスの提供に腐心しました。



巡回診療へ出発



新設2次避難所レイアウト

○三次隊は山間部各戸訪問と地元医療機関への引き継ぎに注力。

二次隊が2次避難所設営支援を完遂した後を受けて、三次隊(5/19～)は土砂災害地域の山間部集落への個別各戸訪問(昼)と夜間を避難所で過ごす避難者に対応する為の夜間避難所巡回を医療支援活動の中心に据えると同時に、派遣ミッション最終部隊として、HuMAチーム撤収後を見据えて、地元行政や医療機関へのHuMAが収集せるデータや活動のスムーズな引き継ぎがその使命として求められました。ADRO阿蘇市分室運営とともに担った市役所保健師チームを中心として、地元医療機関や社会福祉機関に報告書と避難所運営マニュアル等を提出し、詳細で実践的な申し送りを実行しました。



古城地区各戸訪問



阿蘇医療センターへ薬剤を寄贈



避難所マニュアルの説明(＋くまもん慰問)



阿蘇市長・市役所保健課長・HuMA

○会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また**寄付者の掲載について匿名をご希望の方は**下記事務局までご連絡を頂きますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
理事長 前川 和彦

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数483名
・正会員・登録会員364名
・賛助会員196名
(2016年3月末現在)

発行＝認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

連絡先＝東京サポート事務局 〒154-0002東京都世田谷区下馬1-32-4アールホフ今井201
TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: tso@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>